

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館、公民館、図書館、体育館及び屋外体育施設を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行いました。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団 体 名	責 任 者	会 員 数	組 織 及 び 活 動
少年 団 体	ボーイスカウト	森 田 治 男	250人	ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊 シニア隊、ローバー隊 福生第1団 福生第2団 東京 191団 訓練活動（キャンプ） 奉仕活動、リーダー研修
	ガールスカウト			
	福生市連合育成会			
成 人 団 体	福生市文化協会	小 林 菊 三	4,077人	加盟団体 136 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生市公立小中学校 P T A 連 合 会	加 園 みさを	5,366人	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	斎 藤 翼	4,274人	加盟団体 19 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育会 都民体育大会

2. 第29回市民文化祭

(1) 趣旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展を図る。
- ② 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会。

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化協会役員

② 出展、出演団体の代表者

③ 教育委員会社会教育課、市民会館・公民館職員

(4) 期日

10月31日(土)・11月1日(日)・3日(火)・7日(火)・8日(日)・14日(土)

(5) 場所

展示関係 市民会館、公民館、市民会館前庭

演示関係 市民会館大・小ホール、公民館、福庵

(6) 運営方針

① 同一種目については主管団体が処理する。

② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、
新種目を行う団体はその団体が主管し、個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

① 市民の活動であること。

② 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在学の個人及び団体）とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要項の決定

② 開場式 10月31日(土) 午前10時～

市民会館小ホール

③ 準備過程

ア 広報

(ア) 公募 5月1日発行の広報ふっさ

申込締切 5月31日

(イ) 日程内容の周知

広 報 10月15日

ポスター 10月初旬 250枚

(ウ) プログラム 5,000部

イ 案内状 総合プログラムといっしょに実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

(ア) 指定様式に記入提出

(イ) その他必要品

エ 役員、実行委員を委嘱する。

オ 委託料の交付 860,000円

(10) 実行委員会日程

第1回 6月16日(金) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第2回 6月25日(木) 午後7時30分 演示関係 市民会館第5集会室

第3回 7月1日(水) 午後7時30分 展示関係 市民会館第5集会室

第4回 9月29日(木) 午後7時30分 合同 市民会館第5集会室

第5回 12月19日(土) 午後7時30分 反省会 商工会館3階301会議室

(11) 実施内容

平成10年度参加団体

演示 165団体 内行政関係 3団体

展示 64団体 内行政関係2団体 個人8人

計 229団体・個人8人

※期間中の延一般入場者数 約4,338人

3. 成人式

趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし、成人者が改めて成人する意味、意義を確認しあう場として、また今後、社会の担い手として独立した主体者として生活して行くための機会とする。

主 催 福生市、福生市教育委員会

期 日 平成11年1月15日 開式午前11:00

場 所 福生市民会館大ホール

実施内容 式典・開式、君が代、福生市の歌、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、主催者紹介、祝賀

演奏、成人者代表による謝辞

演奏・福生市吹奏楽団

出席状況

成人者数		出席者数		出席率
男	375人	男	189人	50.4%
女	389人	女	228人	58.6%
合 計	764人	合 計	417人	54.6%

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法第15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市では昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般にわたり調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申します。

会議等開催状況

開 催 日	場 所	会 議 名	内 容
平成10年4月25日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員 連絡協議会定期総会 及び全体研修会	平成9年度事業報告・収入支出決算報告 平成10年度役員選出 〃 事業計画・収入支出予算 記念講演「心を持たない人形 ―戦後青少年の心の問題―」 河原勢自
5月12日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	平成10年度社会教育関係団体補助金外
6月23日	相模川ふれあい科学館 相模原市	社会教育委員日帰り 視察研修会	社会教育施設見学
9月5日	ひのでグリーンプラザ	都市社連協 第1ブロック研修会	主題「生涯学習時代における社会教育の役割」 副題「社会教育委員として考えること」 三輪建二
9月17～18日	埼玉県秩父市	関東甲信越静社会教育 研究大会	主題 充実した人生を築く生涯学習社会づくりに 果たす社会教育の在り方と社会教育委員の役割
10月20日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	新委員委嘱状交付 正副議長の選任外
11月14日	町田市国際版画美術 館	都市社連協 全体交流大会	主題「生涯学習時代における社会教育の役割」 副題「私とスペインの暮らし」小林基輝
11年3月19日	中央体育館会議室	社会教育委員の会議	平成11年度社会教育計画及び社会教育関係 予算について

5. 生涯学習

福生市生涯学習推進計画に基づき、「市民が学ぶ楽しさに気づき、学習活動に意欲的に取り組み、学習成果が多様な分野で生かされ、ゆとりと生きがいのある生活を送れる社会、さらに文化がはぐくまれ、一人ひとりが健康でいきいきと輝く社会」となるよう努力をしてきた。公民館、図書館、体育館、屋外体育施設等の社会教育施設は、中心となってその課題を担うものとして計画的に活動してきた。

6. 文化財保護事業

本市では、昭和48年に文化財保護条例を制定し、その後、昭和54年の改正によって保護行政の充実と強化をはかってきたが、さらに平成3年4月1日より文化財登録制度の導入を行い、より多くの文化財を保護するための行政の推進はかっている。その結果、平成10年度には、市登録文化財は60件となった。この登録文化財の中から、特に学術的にすぐれている貴重な文化財を市指定文化財として保護しているが、10年度には新たに7件を市指定文化財に加え、市指定文化財は30件となった。

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに市民が文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができる。これらの事業は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであり、そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施した。また、日々進行する地域の開発・都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで、文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行った。

市史の普及事業も文化財保護行政の一つとして実施しているが、平成7年度より市史編纂事業で作成した刊行物（市史本編・上下2巻、資料編・考古編、他10編及び研究誌・17号まで）、さらに編纂で収集した近世文書、他の文献類、マイクロフィルム（179.650コマ）などの保存と管理、頒布、情報提供、等々の業務を実施している。10年度は管理業務、情報提供業務をすすめる一方、普及事業として「市史を読む会」、「見学会」等を開催して市史の普及と活用を推進した。また、9年度に行った市史普及版の原稿作成事業であるが、本年度は印刷、製本を行い『福生歴史物語』を発刊した。

郷土資料室は、文化財保護思想普及の場としての展示活動、文化財保管の場としての文化財の収

集、そして収集した資料を情報として市民への提供、等々の活動を行っている。特に、収集した資料の保管を正確に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターによる資料管理を推進した。そして、資料の活用として特別展示を開催した。

1 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために8人の委員が委嘱されている。任期は、平成9年7月1日から平成11年6月30日までである。

① 会議の開催

平成10年10月17日

- (1) 市指定文化財の指定について
- (2) 特別展の開催について
- (3) 熊川神社本殿修理について
- (4) 市史普及版について

平成11年3月20日

- (1) 市指定文化財について審議
- (2) 平成11年度の事業について

2 文化財保護事業の実施状況

① 文化財指定実施状況

平成10年度に新しく指定した文化財は7件である。

指定番号	名 称	指定区分	指定年月日	所有者
24	伝開山夷春伯禅師坐像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	千手院
25	達磨大師坐像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	千手院
26	如意輪観音坐像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	真福寺
27	伝開山月堂宗秋禅師坐像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	福生院
28	釈迦如来坐像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	福生院
29	菩薩立像	市指定有形文化財	平成10年11月1日	清岩院
30	狛犬	市指定有形文化財	平成10年11月1日	熊川神社

② 文化財総合調査事業の実施状況

調 査 項 目	調 査 内 容
古文書調査	古文書の整理・分類・目録作成（森田家旧蔵製糸関係等資料・市登録文化財第50号）・調査員（責任者）鈴木芳行氏（中央大学講師）
民 俗 調 査	伝統的な衣生活調査（森田家寄贈、他）・調査員 保坂和子氏、山崎ヨシ江氏、森田節子氏、浅井薫氏（地域の生活文化を考える会会員）
民 具 調 査	郷土資料室収蔵の民具を調査・調査員 田野倉紀子氏（日本民俗学会会員）岡部悦子氏（郷土資料室臨時職員）

③ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

- ・昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託しているが10年度も引き続き委託した。

④ 熊川神社本殿復原修理工事事業

- ・東京都指定有形文化財の熊川神社本殿の復原修理工事を平成8年度から開始したが、本年度は4ヶ年事業の3年目にあたる。本年度の補助対象事業の内容は、基礎工事（本殿、覆屋基礎）、石工事（本殿、覆屋石積み）、木工事（本殿古材補修、覆屋木材加工、建方及び造作）、塗装工事（本殿彩色、覆屋古色）、屋根工事（覆屋屋根銅板葺）、金属工事（覆屋金網）、防災工事（火災報知設備）、雑工事（電気工事）である。

3 郷土資料室の事業実施状況

① 資料の収集（寄贈・購入）

寄贈	5 件
購入	2 件

② 資料の消毒

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）内の消毒を業者委託により行った。実施時期は平成10年6月3日～30日（消毒実施日は6月18日）である。消毒の概要は次のとおりである。

- ・場所 第1収蔵庫（98.3㎡）、第2収蔵庫（27.1㎡）、
文化財倉庫（127.5㎡）

- ・対象資料及び目的 民俗、歴史、美術、自然資料の殺虫、殺菌、殺卵、等

③ 展示、学習会等の教育普及事業

(1) 特別展示

「武州下原刀展」

武州下原刀とは、下原鍛冶といわれる刀工群が製作した刀剣類の通称である。下原鍛冶と

は、現在の八王子市恩方地域に散在した山本姓を名乗る刀工群の総称である。下原刀工は、室町時代末期より武蔵国守護代・大石氏、そして小田原北条氏の関東制圧後は八王子城主北条氏照の庇護を受け、作刀した。福生市域は、大石氏そして北条氏の支配下にあり政治的、経済的に大きな影響をうけていた。このような歴史的背景を有する武州下原刀は、郷土資料として貴重な文化財である。今回の特別展は、初代・周重以降、歴代の下原刀工が制作した刀槍類77点、付属資料10点を展示した。

・期間 平成10年10月1日～11月29日

記念講演会の開催

10月24日「武州下原刀の源流をさぐる」

講師 後藤安孝氏（財団法人日本美術刀剣保存協会評議員）

11月7日「武州下原の刀匠たち」

講師 後藤安孝氏（財団法人日本美術刀剣保存協会評議員）

刀剣相談会の開催

11月14日 指導者 後藤安孝氏

(2) 企画展示

「染と織のふるさと一森田家三代のきものにみる一」

明治、大正期に市内で製糸工場を経営した森田家から寄贈された衣類（市登録文化財第52号、平成7年11月1日）のなかから「染」と「織」に注目して百点余りを展示した。染には、藍染、小紋染、友禅染などの「絞り」や「型染め」など様々なものが見られる。また、織は、「絰」、「格子」、「縞」などがある。これらは明治、大正期のきものの産地、特徴をよくあらわしている。

・期間 平成10年5月1日～6月14日

展示資料解説会の開催

5月23日 解説者 保坂和子氏（日本民俗学会会員）

(3) 企画展示

「平和のための戦争資料展」

日本が近代に関わった戦争、日清戦争以降太平洋戦争に至る間の様々な資料を展示し、改めて平和の大切さを認識していただくよう展示した。明治以降の日本の軍服を始め、陸軍多摩飛行場で使用した通信機、市内に米軍機より落とされた爆弾の破片、また、太平洋戦争時に国内で使用された配給キップやプロパガンダ書籍、戦地から家族へ出された手紙、絵はが

き、等々が展示資料である。なお、昭和20年8月の立川空襲の際の被害状況を福生市を含めた周辺地域を対象として図表を製作した。

・期間 平成10年7月1日～9月22日

(4) 常設展示

「福生市の成り立ちと人々の歩み」

昭和55年4月の開館以来、テーマは「福生市の成り立ちと人々の歩み」である。この展示テーマのもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成している。利用対象を小・中学生と設定し、各分野のテーマは、歴史分野が「福生の成り立ちと歴史を学ぼう」、民俗分野が「福生の民俗とくらしを学ぼう」、自然分野が「多摩川の自然を学ぼう」である。この常設展は、展示室が狭小なことから各分野のテーマは「…学ぼう」「…さぐろう」「…観察しよう」といった問題設定の形をとって利用者に関心をもっていただくことをねらいとしている。

・期間平成10年4月1日～11年3月30日

(5) 学習会

a. 文化財保護思想普及学習会

初心者古文書学習会

古文書の読解を通じて地域の歴史に対する関心と理解を深めていただけるように企画した。テキストは近世末期に筆写された『神光仏言夢物語』である。この資料は、開村の由来、天変地異、自然災害、村役人の変遷、等々を記したものであり、地域史に関心を持った市民には最適のものであった。

全4回、平成10年6月13日、6月20日、6月27日、7月4日、午後2時～4時

講師 高崎勇作氏（市文化財保護審議会委員）

b. 文化財保護思想普及子供対象学習会

さいたま川の博物館の見学

小学校3年生から6年生までを対象とした見学会を実施した。川をテーマとして水や緑と人、地域の関わりについてさいたま川の博物館を利用して学習した。

平成10年7月23日 全日

c. 文化財保護思想普及見学会

玉川上水開削工事跡の見学

江戸時代前期・承応2年（1653）に江戸市民の飲用水の確保を目的として、多摩川から引水して四谷まで40数キロメートルにわたって開削された玉川上水が市内を縦貫している。市

内には工事失敗の跡が市史跡・玉川上水開削工事の跡として、一部が保存されている。この史跡の見学を通じて、江戸時代の市域の様相について学習した。

平成10年11月8日午後2時～4時

案内・解説 高崎勇作氏（市文化財保護審議会委員）

d. 文化財保護思想普及見学会

江戸東京博物館・元禄繚乱展の見学

東京都歴史財団・江戸東京博物館が開催した元禄繚乱展の見学を通じて、元禄文化を学んだ。

平成11年3月18日 全日

(6) 出版物

a. 特別展示解説書『武州下原刀展』A4判、116頁、1,000部

b. 『郷土資料室年報18』A4判、48頁、300部

(7) 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者、また文化財に関する情報を必要とする個人、団体、等への情報の提供や印刷援助等を行いました。

(8) 多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので今回で11回を数えた。主催は、多摩27市の社会教育課長会である。

・期間 平成11年1月29日(金)より31日(日)まで

・会場 立川ターミナルビル「ルミネ」1階マグノリアホール（立川市）

(9) 寄附行為

西武信用金庫から1,000,000円の寄附をいただき、文化財収納用桐たんすを購入した。

1式（8台）

4 市史の普及

① 福生市史普及学習会

(1) 福生市史を読む会（民俗）「酒饅頭の民俗」

かつての福生の普段の食事、晴れの日のご飯はどのようなものであったのか、また、主食、副食、間食などはどうであったのか。特に、「酒饅頭」を題材として、多摩地域及び関東地方の食文化について講義を受けた。

平成10年5月30日

講師 加藤隆志氏（相模原市立博物館学芸員）

(2) 福生市史を読む会（近世）「旧記の成立と歴史意識のめばえ」

福生村、熊川村の開村の由来を記した史料に『神光仏言夢物語』がある。この史料の解釈を中心として日本各地に残る開村由来記を分析し、そこに地域民衆の歴史への関心の高まりと、社会関係の変化などについて講義を受け、さらに地方自治の成立の原点などを学習した。

平成10年9月12日、9月19日 全2回

講師 岩橋清美氏（法政大学講師）

② 普及版の刊行

平成7年度に『福生市史・下巻』の刊行をもって終了した福生市史であるが、その普及をはかるために内容を平易にし、手に取りやすい簡便な市史普及版の作成を9年度から2カ年事業で進めた。本年度は、印刷、製本を行い『福生歴史物語』の書名で刊行した。

本書の構成は、原始・古代から現代に至る福生市の歴史を「石器を使った人びと」の項目から書き起こし、「太平洋戦争後の行政の推移」の項目まで、45項目のテーマを設定して249頁にわたって記述した。

A5判、4色、249頁、3,000部

7. 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施策の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関です。

委員数27人

日 時	会 議 内 容
7月6日 午前10時から	1 平成10年度福生市青少年健全育成夏季対策事業について 2 平成10年度福生市善行少年表彰について 3 「家庭の日」図画・作文の実施について 4 福生市青少年の意見発表大会の実施について 5 関係機関より報告、情報交換
11年2月17日 午前10時から	1 平成11年度福生市青少年健全育成事業計画について 2 東京都青少年の社会参加活動・社会貢献活動等推進事業補助（仮称）について 3 青少年問題講演会について 4 関係機関からの報告、情報交換

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、地区委員会相互が連絡・協力して社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会議名	会議内容
4月8日	地区委員長会	第7回ふっさ輝きフェスティバルについて、活動報告、活動計画、他
4月15日	理事会	不健全ビデオ自販機撤去、輝きフェスティバルについて、他
4月22日	地区委員長会	〃
4月30日	理事会	〃
5月7日	地区委員長会	輝きフェスティバルについて、他
5月13日	理事会	〃
5月16日	前日準備	
5月17日	第7回福生輝きフェスティバル（多摩川中央公園）＝雨天中止	
6月3日	理事会	フェスティバル反省 今後の活動について
6月6日	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会、フェスティバル反省、他
6月17日	地区委員長会	フェスティバルまとめ、今後の活動について
7月3日	理事会	環境浄化運動、夜間一斉パトロールについて、他
7月15日	地区委員長会	〃 夏休みの活動について、他
8月12日	理事会	〃 視察研修について、他
8月26日	地区委員長会	〃 〃
9月3日	理事会	〃
9月5日	夜間一斉パトロール（市内全域）	
9月16日	地区委員長会	パトロール結果、軽スポーツ&豚汁会、視察研修について、他
9月22日	理事会	台風のため中止
10月1日	理事会	視察研修、軽スポーツ&豚汁会、環境浄化運動について、他
10月7日	地区委員長会	〃
10月14日	理事会	〃
10月21日	地区委員長会	軽スポーツ&豚汁会について、視察研修について、他
10月27日	理事会	〃
11月4日	地区委員長会	〃
11月14日	前日準備	
11月15日	軽スポーツ&豚汁会（多摩川中央公園）	
11月21日	視察研修（東京都青少年センター、他）	
12月2日	理事会	軽スポーツ&豚汁会反省、環境浄化運動、成人式について、他
12月9日	地区委員長会	〃
1月15日	成人式出席、祝い酒コーナーの実施、新年会	
1月21日	地区委員長会	軽スポーツ&豚汁会反省、環境浄化運動、成人式について、他
2月10日	理事会	来年度事業計画 第8回福生輝きフェスティバル、環境浄化について、他
2月16日	地区委員長会	〃
3月3日	理事会	輝きフェスティバル、環境浄化について、他
3月10日	地区委員長会	〃 補助金事務手続きについて、他
3月24日	理事会	輝きフェスティバル、環境浄化について、他

(3) 青少年問題地区委員会実績

地 区 名	委 員 数	児童生徒数	主 な 活 動	補助金額
熊 川 住 宅	7人	100人	ラジオ体操、もちつき大会ほか	51,650円
南	20	72	祭礼参加、交通安全運動ほか	46,140
内 出	21	127	鱈つかみどり、もちつき大会ほか	56,950
武 蔵 野	43	135	ラジオ体操、もちつき大会ほか	58,520
福 東	23	303	ハイキング、もちつき大会ほか	91,530
南田園一丁目	24	129	夏まつり、キャンプほか	57,340
鍋 一	33	237	横田基地歴史ツアー、もちつき大会ほか	78,570
鍋 二	36	282	歩け歩け運動、ビデオ上映会ほか	87,410
玉 川 台	13	26	夏まつり、中学生を送る会ほか	37,130
富 士 見 台	7	94	映画会、もちつき大会ほか	50,470
福 栄	16	112	七夕まつり参加、運動会ほか	54,000
熊 牛	41	229	ホテル祭絵画展、バスハイクほか	76,990
南田園三丁目	22	103	どんど焼き&もちつき大会ほか	52,230
南田園二丁目	6	142	ラジオ体操、もちつき大会ほか	59,900
牛 一	6	118	夕涼み会、ラジオ体操ほか	55,180
牛 二	23	204	盆踊り、ラジオ体操ほか	72,080
原 ケ 谷 戸	25	318	盆踊り、ラジオ体操ほか	94,480
志 茂 一	36	275	バスハイク、歓送迎会ほか	86,030
志 茂 二	22	171	ナイター球技大会、一斉生徒集会ほか	65,600
本 町 一	24	23	祭礼参加、もちつき大会ほか	36,540
本 町 二	17	31	球技大会、もちつき大会ほか	38,120
本 町 三	11	25	盆踊り大会、もちつき大会ほか	36,940
中 央	7	28	川遊び、もちつき大会ほか	37,530
本 町 六	24	47	川遊び、もちつき大会ほか	41,230
本 町 七	16	208	子ども会歓送迎会、祭礼協力ほか	72,870
本町八第一	21	339	子ども会歓送迎会、ラジオ体操ほか	98,610
本町八第二	65	333	バスツアー、もちつき大会ほか	97,430
武蔵野台一丁目	46	355	川遊び、いもほり大会ほか	101,750
加 美 平 住 宅	4	156	青空コンサート、もちつき大会ほか	62,650
永 田	19	139	キャンプ、ハイキング&芋煮会ほか	59,310
長 沢	19	164	親子運動会、6年生キャンプほか	64,220
加 美 一	8	40	運動会、どんど焼きほか	39,890
加 美 二	20	309	ラジオ体操、どんど焼きほか	92,710
合 計	725	5,374		2,112,000

(4) 平成10年度青少年対策事業

1. 善行少年の表彰

福生市善行少年表彰実施要綱に基づき（第一条 少年でその行為が他の模範となると認められるものを表彰し、広く少年の公德心の高揚と、より良き社会環境を作り、少年の健全な育成を図ることを目的とする。）3人に対し表彰を行った。

表彰事由は、防災・社会福祉に1人、社会福祉2人であった。

2. 「家庭の日」図画・作文 募集

「家庭の日」図画・作文募集要項に基づき（目的 「家庭の日」の図画、作文を市内小・中学生から募集し、「家庭の日」に対する関心を高める。また、優秀作品については、市内公共施設に掲示したり、広報等に発表し、家庭の大切さを訴え、青少年の非行を防ぐ。）作品を募集した。

募集期間 平成10年7月から9月

応募者数 図画234人 235点 作文0

入 選 一席 1点

二 席 2点

佳 作 20点

3. 第5回福生市青少年の意見発表大会

市内の中学生が日常生活を通じて考えていること、体験などを自由に発表することにより、自由心、創造性、社会性を育てる機会とするとともに、広く一般市民が中学生の意識や行動に対する理解を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的に実施した。

日 時 10月31日 午後2時から

場 所 市民会館小ホール

発 表 者 市内在住中学生14人

発 表 主 題 夢をつなぐ、障害者差別、心のちがい、日頃の疑問と不満と願い、人を感動させる音楽をめざして、目標に向かって、いじめ問題について、私の祖母、交通事故、いじめについて、今の日本と事件、進路について、大人と子供、友達

主 催 福生市青少年問題協議会・福生市教育委員会

4. 青少年問題講演会

日 時 平成11年3月20日(土) 午後7時から

会 場 市民会館小ホール

講 師 宮台真司氏(東京都立大学助教授)

テーマ 成熟社会と若者たちの行方

参加者 約80人

5. 青少協だよりの発行

青少年健全育成のための事業のPR・報告、その他各種の情報提供を行うため、年4回発行した。

6. 青少年健全育成PR用品の配布

「いじめをなくそう 一見て見ぬふりをしないで『やめよう』といえる勇気を！」というアピールを刷り込んだクリアホルダーを各地区委員会を通じて配布した。

7. 第7回ふっさ輝きフェスティバル

「家庭の日」推進・拡大を目指し準備を進めていたが、当日雨のため中止した。

日 時 平成10年5月17日(第三日曜日)

場 所 多摩川中央公園

内 容 模擬店(やきそば、フランクフルト、ポップコーン、ジュース、かき氷、フライドポテト、駄菓子)

軽スポーツ(バスケットボール、ピッチングボール、ミニサッカー、グラウンドゴルフ)

ゲーム(輪投げ、パズル、空缶つり=体育指導委員の協力)

体験コーナー(巣箱作り、藤細工、こま、べいごま、羽根つき)

その他(小動物園、ミニSL、マスつり&つかみどり)

パトカー等の展示と防犯指導(福生警察署の協力)

わんぱく相撲西多摩場所(福生青年会議所)

主催 福生市青少年問題地区委員長会

8. 軽スポーツ&とん汁会

「家庭の日」推進・拡大を目指し、各地区委員会の協力のもと実施した。

日 時 平成10年11月15日(第三日曜日) 午前10時~午後2時

場 所 多摩川中央公園

内 容 軽スポーツ(PK戦、ピッチングボール、遠投、ボーリング、バスケットボール、ゲートボール、なわとび、輪投げ、パズル、ドッチボール)

体験コーナー(竹馬、竹細工、べいごま、羽根つき)

とん汁

参加者 約1500人

主 催 福生市青少年問題地区委員長会

9. 視察研修

各地区委員長ならびに関係者が見識を深め、非行防止、青少年の健全育成を目指し、視察研修を実施した。

日 時 平成10年11月21日(土)

場 所 東京都青少年センター、東京都水の科学館

参加者 30人

10. その他の事業

- キャンプ用品の貸出 ○夜間一斉パトロール（9月5日実施） ○「家庭の日」推進事業
- 環境浄化運動

(5) 平成10年度青少年対策事業（行政）

1. 地区活動への援助

①補助金

- 福生市青少年対策地区組織活動補助金
- 青少年の社会参加活動推進事業補助金
- 地区委員長会主催事業補助金

②その他の援助

- 事務的援助（コピー、印刷等）
- 各種大会等の開催援助
- 講演会、研修会の開催援助（講師の紹介、会場の確保等）

2. 青少年海外派遣事業

目 的 青少年を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し人々と交流することによって、相互理解を深め将来、国際的な視野に立って活躍出来る人材の育成を図っていく。

応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
市立第一中学校	5	7	12
市立第二中学校	3	7	10
市立第三中学校	6	9	15
私立中学校	5	8	13
計	19	31	50

派遣選考結果 中学生12名（男子6名、女子6名）

派遣日程・場所 7月22日(水)～8月4日(火) 12泊14日

アメリカ合衆国カリフォルニア州・ユタ州、カナダ国アルバータ州・ブリティッシュ
コロンビア州

帰国報告会 平成10年8月11日(火) 午後2時から

市民会館4・5集会室

3. 富士自然観察会

福生市では味わうことのできない動植物の観察をととして、大自然の大切さを学び、また他
校の小学生との交流を深めることを目的に実施した。

日 時 平成10年8月18日(火) 午前7時30分中央体育館集合、出発

場 所 入笠山での自然観察（長野県諏訪郡富士見町）

対 象 小学4年生以上

参加者 10人

自然観察会参加者内訳

	4年	5年	6年	計
男	2	4		6
女		2	2	4
計	2	6	2	10

4. その他の事業

社会教育課・スポーツ振興課・体育館

○各種運動（家庭の日、一声運動） ○水泳教室（小、中学生）

○小学生バレーボール教室 ○小学生バトミントン教室

○幼児体操教室 ○親子スポーツ教室

○夏休みジュニアスポーツスクール

公民館

○おたのしみ映画会 ○キャンプ教室

○子ども教室 ○子ども教室Ⅱ

○ファンタスティック（児童劇団） ○たんけん教室

○子ども昆虫博士になろう ○フリークライミング教室

図書館

○おはなし会 ○映画会 ○クリスマス会

8. 集会施設の利用状況

(1) 扶桑会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		保 育 室		合 計			
	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	使 用 料	
											件数	金額
4	48	987	33	294	24	177	23	239	128	1,697	10	7,800
5	48	996	30	226	26	194	18	160	122	1,576	11	12,000
6	51	801	31	367	18	119	16	180	116	1,467	13	14,400
7	46	907	27	296	22	148	19	223	114	1,574	25	28,600
8	48	818	19	183	10	152	12	118	89	1,271	16	20,300
9	54	925	23	282	21	197	23	312	121	1,716	18	19,600
10	53	914	23	302	28	328	25	391	129	1,935	25	31,200
11	42	624	23	240	15	109	17	167	97	1,140	22	29,900
12	44	974	30	369	22	222	8	128	104	1,693	19	20,400
11年 1	48	911	20	209	12	115	0	0	80	1,235	12	17,300
2 月	48	798	21	327	20	157	11	142	100	1,424	22	29,400
3	49	715	25	249	23	235	21	274	118	1,473	28	26,000
合 計	579	10,370	305	3,344	241	2,153	193	2,334	1,318	18,201	221	256,900

(2) かえで会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請件数	人 数	使 用 料	
									件数	金 額
4	26	463	30	343	14	364	70	1,170	17	15,900
5	29	477	32	414	16	377	77	1,268	17	21,300
6	29	484	31	472	13	338	73	1,294	4	6,200
7	31	795	28	641	21	610	80	2,046	9	7,200
8	29	417	27	268	9	267	65	952	13	10,800
9	41	421	27	253	7	162	75	836	21	16,200
10	37	518	33	421	6	370	76	1,309	9	7,500
11	36	559	9	296	17	278	62	1,133	4	4,200
12	26	251	5	76	4	55	35	382	8	6,900
11年 1	34	674	13	446	32	346	79	1,466	14	15,300
2	45	581	14	390	29	410	88	1,381	7	6,000
3	36	662	12	506	33	437	81	1,605	9	9,300
合 計	399	6,302	261	4,526	201	4,014	861	14,842	132	126,800

9. 展示施設の利用状況

(1) プチギャラリー利用状況

区分 月	第一展示室		第二展示室		第三展示室		合 計			使 用 料
	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	延利用 件 数	延利用 日 数	入場者数	
4	3	10	1	4	1	26	5	40	902	95,000
5	4	18	2	12	1	27	7	57	1,763	220,000
6	4	16			1	25	5	41	1,059	180,000
7	2	8			1	27	3	35	489	55,000
8	3	12	1	5	1	26	5	43	617	125,000
9	5	21	1	4	1	26	7	51	1,368	30,000
10	4	22	4	18			8	40	2,017	95,000
11	5	22	5	23			10	45	3,111	70,000
12	5	19	3	7			8	26	1,244	75,000
11年 1	4	14	3	11			7	25	944	70,000
2	4	19	2	10			6	29	1,485	30,000
3	6	26	3	11			9	37	1,994	75,000
合 計	49	207	25	105	6	157	80	469	16,993	1,120,000

(2) 展示内容 絵画 (18) 写真(8) 彫刻(1) 手芸(7) 書道(3)

陶芸 (1) 盆栽(1) フラワーアレンジ(2) その他(13)